

福岡県久留米市田主丸財産区有林において、平成21年度から平成24年度に間伐を行い、間伐によって発生する二酸化炭素(CO₂)の吸収量をクレジット化及び販売し、その新たなる資金として持続可能な森林経営を継続し、森林の持つ水源かん養機能等公益的機能の維持増進を図ります。

プロジェクトの実施場所	久留米市田主丸財産区有林内
吸収量(予測)	年間 558 t-CO ₂
在庫量	— t-CO ₂
クレジットの次回発行予定	検討中
1t-CO ₂ あたりの希望単価	検討中



○福岡県久留米市田主丸財産区有林内の540haを対象に間伐を行うことにより、林内に光が差し込み、間伐後の立木は良く成長し、根も広がり活発になります。さらに下層植生が生育することで、地表面の保護が図られ土砂の流出防止や水源かん養機能が高められます。

間伐計画地 久留米市田主丸町 503.78ha
うきは市吉井町・浮羽町 25.9ha

○間伐の実施により京都議定書の森林吸収目標3.8%達成にも貢献し、地球温暖化防止にも寄与します。

お問い合わせ先:久留米市田主丸総合支所産業振興課
(TEL:0943-72-2110 担当:秋永、伴)